

第51回 医学教育セミナーとワークショップ in 医科歯科 開催要項・参加者募集

医学教育開発研究センターは、新しい医学教育の開発と普及を目的とした“医学教育セミナーとワークショップ”を毎年4回開催し、全国から多くのご参加をいただいております。第51回医学教育セミナーとワークショップは、東京医科歯科大学医歯学教育システム研究センターと共同開催いたします。奮ってご参加ください。

東京医科歯科大学 医歯学教育システム研究センター 奈良信雄
岐阜大学 医学教育開発研究センター 鈴木康之

日程 2014年1月25日（土）～26日（日）
会場 東京医科歯科大学

2014
冬

- WS-1 老年医学のシミュレーション教育
- WS-2 SP大交流勉強会 in 東京
- WS-3 臨床実習の現場における医学生の評価を考える
- WS-4 歯学部：臨床実習終了時の技能・態度評価
- WS-5 卒後臨床研修における事務職員の役割
- WS-6 国際基準に基づく医学教育質保証
- セミナー 国際認証問題への韓国の対応（仮題）

講師：Ducksun Ahn

(President, the Association for Medical Education in the Western Pacific Region, KOREA)

プログラム							
25日 (土)	午後	WS-1	WS-2	WS-3	WS-4	WS-5	WS-6
	夕	セミナー					
	夜	懇親会					
26日 (日)	午前	WS-1	WS-2	WS-3	WS-4	WS-5	

WS-1 老年医学のシミュレーション教育

企画：金子英司（東京医科歯科大学）

日時：1月25日（土）13:00-17:00、26日（日）9:00-13:00

概要：高齢化が進む現在、老年医学教育の重要性はますます高まっています。このワークショップでは老年医学を教える方法として、シミュレーション教育の有効活用を考えます。長寿社会文化協会の高齢者疑似体験プログラム「うらしま太郎」および認知症高齢者疑似体験プログラムを実際に体験するほか、認知症高齢者の標準模擬患者（SP）の試み、コンピュータシミュレーション教材作成の実習などを通して、シミュレーション教育を取り入れた新しい老年医学カリキュラムの構築を考えます。

対象：老年医学やシミュレーション教育にかかわる教員および医療従事者

定員：20名

WS-2 SP大交流勉強会 in 東京

企画：孫大輔（東京大学）、藤崎和彦（MEDC）

日時：1月25日（土）13:00-17:00、26日（日）9:00-13:00

概要：SP大交流勉強会は、岐阜、徳島、東京、札幌、広島、千葉、そして前回は沖縄と全国各地で開催されてきました。今回は首都東京で開催です！1日目はSPさん同士による大交流会、2日目にはインプロ（即興演劇）を体験したり、ワールドカフェという手法を学べる勉強会を予定しています。医学、歯学、薬学だけでなく、SP参加型医療コミュニケーション教育は看護はもとより、作業療法、理学療法、鍼灸士教育などにもさらに拡大を続けています。全国の皆さん、是非、東京にお集まりください！

対象：模擬患者参加型教育にかかわる模擬患者、教員、指導者、学生、研修医、医療スタッフ

定員：60名

WS-3 臨床実習の現場における医学生の評価を考える

企画：日本医学教育学会 卒前臨床教育委員会、高村昭輝（三重大学）

日時：1月25日（土）13:00-17:00、26日（日）9:00-12:00 ※終了時間が他と異なります

概要：「臨床実習中に学生の臨床能力を評価するための具体的な方法について考える」ことをワークショップの目標とします。まず、臨床能力の評価法について簡単に学んだあと、参加者の施設での現状を把握したうえで、観察評価に用いる評価表を作りたいと思います。さらに、その評価表およびすでに使用されている評価表を用いて実際に評価をしてみて、臨床実習の現場における医学生の評価を考えていくことを計画しています。

対象：医学部の臨床実習（全体）の実施責任者の立場にある人、各科の臨床実習の実施責任者、臨床実習の指導医など

定員：20名

WS-4 歯学部：臨床実習終了時の技能・態度評価

企画：荒木孝二（東京医科歯科大学）、日本歯科医学教育学会

日時：1月25日（土）13:00-17:00、26日（日）9:00-13:00

概要：多くの大学で診療参加型臨床実習の充実のための取り組みが行われるようになってきました。臨床実習開始前の歯学生には、共用試験OSCEによって技能と態度を評価するシステムができていますが、臨床実習終了時の技能・態度評価については、ほとんど基準がありません。そこで本ワークショップでは、すでに先駆的に臨床実習終了時のOSCEや技能到達度確認試験を実施している大学の例を紹介します。その後グループに分かれて、臨床実習終了時の技能・態度評価の必要性、評価項目、評価基準などについてディスカッションを行い、今後臨床実習終了時の技能・態度評価を実施していくために必要なノウハウを習得できる場になりたいと思います。

対象：卒前臨床実習に関わっている教員、臨床実習終了時の技能・態度評価に興味のある教員

定員：30名

WS-5 卒後臨床研修における事務職員の役割

企画： 鈴木康之・川上ちひろ（MEDC）、尾原晴雄（沖縄県立中部病院）、青野真弓（聖路加国際病院）、宮田靖志（北海道大学病院）、深田絵美（名古屋医療センター）

日時： 1月25日（土）13:00-17:00、26日（日）9:00-13:00

概要： 臨床研修が必修化となり10年目を迎えています。その中で、研修事務職員の役割はますます重要になってきています。書類作成・データ管理等の事務手続きだけでなく、研修医や指導医に対するさまざまな支援の役割を担っています。このワークショップでは、全国の臨床研修病院で事務を担当している皆さんにお集まりいただき、研修事務職員の役割と課題について討論し、先進事例や業務に役立つノウハウについて学び、卒後臨床教育の充実をめざして連携の輪を作ってゆきたいと思います。

対象： 臨床研修病院（大学病院、一般病院）で研修事務を担当しておられる方

定員：30名

WS-6 国際基準に基づく医学教育質保証

企画： 奈良信雄（東京医科歯科大学）

日時： 1月25日（土）14:00-17:00 ※開始時間が他と異なります

概要： 2023年以降は国際基準で認証を受けた医学部出身者以外のECFMG申請資格を与えないとの通告を契機に、我が国の医学部でもWFMEのGlobal Standardsに沿った医学教育質保証が進められています。教育の質保証では、まず国際基準に基づいて自己点検評価を行い、その後に外部評価を受けることになっています。自己点検では自校の教育を振り返り、内部保証を行います。本ワークショップでは、WFME基準に基づき、自己点検の演習を実施し、医学教育の質保証に備えることを目的とします。

対象： 国際認証にかかわる医学部教員

定員：30名

セミナー 国際認証問題への韓国の対応（仮題）

講師： Ducksun Ahn
(President, the Association for Medical Education in the Western Pacific Region, KOREA)

日時： 1月25日（土）17:15-18:15



参加登録方法

事前登録制です。インターネットから直接お申し込みください。

「MEDC」で簡単検索できます。

締め切り：2014年 1月 13日（月・祝）

ホームページからお申し込みできない方は、FAX（058-230-6468）でご連絡ください。
会場の都合で、各ワークショップに定員を設けております。
申し込み多数の場合、ご参加いただけないこともあります。ご了承ください。

参加費： 2,000円（資料代） 学部学生無料

懇親会費： 5,000円

受付時に徴収いたします。

資料代は、資料作成ならびに報告書「新しい医学教育の流れ」の作成の一部に使用いたします。

参加者には後日、報告書を送付いたします。（学部学生は報告書の送付はありません）

会場： 東京医科歯科大学 湯島キャンパス

（〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45）

※受付場所・各会場のご案内は、後日ホームページに掲載いたします。

■ 湯島キャンパス

- ・JR総武線・中央線御茶ノ水駅 御茶ノ水橋口より徒歩2分
- ・東京メトロ丸ノ内線御茶ノ水駅 下車すぐ
- ・東京メトロ千代田線新御茶ノ水駅 B1出口より徒歩7分

